

台風(風水害)に備えて

安全防災部会

最近、全国各地で大雨の被害が発生していることから、昨年度は幸地区の各自治会で大雨の被害を想定して、地図上での訓練をしました。


避難場所は幸小学校ですが、緊急時で警戒レベル4 避難指示(全員避難)が出たときは、各自治会で違うので、日頃からハザードマップを見て、安全な場所(自宅の2階など高いところ)へ避難をしてください。

台風が接近している中で、屋外に出ることはとても危険ですので、台風が来る前に対策をおこないます。台風情報を確認して、被害を事前に考慮し、幸小学校に避難するなどの行動をとってください。

※ 自分の命は、
自分で守ること。

※ 避難時のために避難物資
(水、食料など)を各自
で準備すること。

**コロナ流行中の避難
非常用持ち出し袋に
追加すべき物**



- マスク
- 体温計
- 筆記用具
- 記録用ノート
- 手指消毒用アルコール
- 石鹸・ハンドソープ
- ウエットティッシュ
- 家庭での常備薬
- ビニール袋(大小)

5 緊急安全確保
せんじゅう あんぜんかくほ

警戒レベル4までに必ず避難!

4 ひなんしじ 避難指示

3 ごろれいしやどろ ひなん 高齢者等避難

2 大雨・洪水・高潮注意報

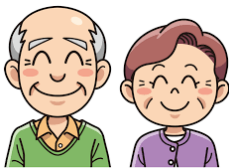
1 早期注意情報

敬老の日に祝い品(洗剤)をお贈りします

幸まちづくり協議会福祉部会の事業として、9月22日(水)から、次に該当するご家庭にお届けします。 令和3年9月1日現在幸地区にお住まいの方で

* 70歳以上の一人住まいの方(昭和26年9月22日以前の生まれ)

* 80歳以上の高齢者のみ(夫婦・兄弟姉妹)でお住まいの方
(昭和16年9月22日以前の生まれ)



福祉部会

立秋雑感



八月七日は立秋。「初めて秋の気立つ」とされる日。暑さは、これからが本番ではあるが、この日になると、やはり「秋の気立つ」と感じる瞬間がある。早朝、庭掃除をしていると、まだまだ小さい秋の虫が、覚束なくも、ぴょんぴょんと飛んでいる。何気ない一瞬に感じる季節の変わり目。残暑の中にも、空が高くなり、雲の形は変わってくる。

二十四節気ごとに感じる季節感を大切にしたい。 井上 孝榮



編集後記

コロナ禍中であって、オリンピックが始まりました。

開催して良かったと言える様に、みんなで応援しよう。頑張り日本! 頑張り全ての参加国!
(T)



裏面もご覧
ください



☆お知らせ☆

*広報委員会
8月6日(金)
10:00

*文化部会
8月26日(木)
13:30



自分で学ぶ力を身につける、総合英語塾

寺子屋かめい

松阪市内五曲町 31-4

営業時間 14時~21時

定休日 日曜・月曜

Tel. 0598-21-0148



Terakoya Kamei

注文住宅 リフォーム 自由設計



ひとクラス上の住まい

クレバリーホーム

株式会社 タスク (クレバリーホーム 松阪店)

〒515-0072 松阪市内五曲町 29-2 (水曜日定休日)

TEL 0598-25-4556 HP <https://mie-creve.com>

夜なき橋

文化部会

昔、蒲生氏郷さんが松阪の城を築いた時の話である。

領地の中の寺や宮さんにある大きな木や石は城をたてる材料として、皆々取って持っていかれた。その中に上機殿さんの夜なきの松があった。

これは、子どもが夜なきをした時、この松皮をはいできて枕の下へ入れると、ぱったり泣きやんだところから、子どもの守り神さんの木であると言うて、村の人たちは大切にしていたものである。

この夜なき松の木も、切って運ばれたが、金剛川を渡り、つぎに名古須川までくると、急にどしーんと重くなった。

「急に重うなるとは不思議じゃ。」

「いやいや、大勢がかかれば動くよ。さあみんなかかれ。」

と言うて押ししたり、こじたりしたが動かぬ。

挺子(てこ)や万力を持ってきたが駄目。まるで地中へ根が生えたようである。

「こりゃー奇妙なことじゃ。もうあかんわい。」

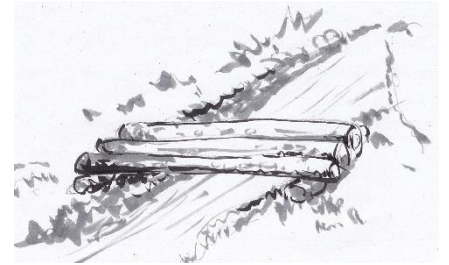
と言うて、この松の木を置きっぱなしにして人々は帰ってしまった。

それから何年がたって、松阪の城ができあがった。

置き去りにされた松の木は名古須川へかけて橋とした。人々はこの橋が夜なき松であると知ると橋の木をけずっていくようになった。

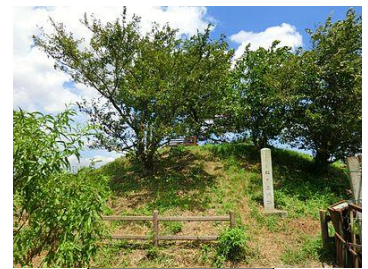
長い年月の間には、けずって、けずって橋の用を為さん用になると、外の木を切って来て代りにかけた。松でない木でも、又々人々は夜泣きのまじないにと、けずって持って行った。

『松阪の民話』『勢国見聞・飯高郡史・飯南伝説誌・神戸村誌』



蒲生氏郷は天正 16 年(1588 年)に、松ヶ島城より、南方一里を望見できる、伊勢国飯高郡矢川庄 四五百森(よいほのもり)に、松坂城を築城。新しい参宮街道を縦貫した。

寺院を町の外側に置き、町筋を直線ではなく角を要所に造って一度に多くの敵兵が攻め込めないようにし、松ヶ島の武士や商人を強制的に移住させて城下町を作り上げた。



松ヶ島城跡

この築城は竣工を急ぐ突貫工事である上、規模も大きく理想も高遠であったので、相当の困難と犠牲とを払ったと言われている。

『勢国見聞集』には氏郷が今の機殿地区にあった夜泣止の霊木を伐採して運搬中、東岸江まで来た時突然怪事が起こったので、これを川端に放棄したところ、里人がこれを利用して、橋を造ったのが後の夜啼橋であると記されている。

